

環境側面/影響評価

<p>概要</p>	<p>環境影響とは、事業活動（製品やサービスも含む）から生じる、環境に対するあらゆる変化であり、有害か有益かを問わない。環境側面とは、環境と相互に影響しうる事業活動の要素であり、環境側面の結果として環境影響が起こるという因果関係が存在する。環境マネジメントシステム（EMS）は著しい環境側面を管理することを目的として構築される仕組みであり、PDCAサイクルによって事業活動の継続的な改善を図るものである。</p>
<p>最新情報</p>	<p>< 関連法規の動き > 持続可能な社会の構築を基本理念として、「循環型社会形成推進基本法」を柱とする容器包装・家電・グリーン調達などの、いわゆるリサイクル6法が整備され、また、PRTR法が発効する等、環境管理の体系が具体化してきている。</p> <p>< 関連技術の動き > 効率のよいマネジメントシステムを構築することを目的として、環境のみならず、品質・労働安全・情報セキュリティなどを統合化したマネジメントシステムに関する研究が活発になっている。このポイントは各々のマネジメントに共通な基盤となる技術体系をどのように確立するかということであり、リスクマネジメント手法が有力視されている。</p> <p>< 業界の動き > 従来以上に「環境」を戦略的武器とする企業が増えている。これは、企業イメージを良くするだけでなく、効果的なEMSを機能させることによって、省資源・省エネルギー上有利な結果を得ることが出来るためであろう。</p> <p>< 今後の課題 > EMSをより実効のあるものとするためには、その効果の度合いを表す環境パフォーマンス指標を整備することが重要となってくる。</p>
<p>当センターの活動</p>	<p>< セミナー・出版物の紹介 > 当センターでは以上の状況に鑑み、EMSの中心的な要素となる環境側面と環境パフォーマンス指標との関連、特にマネジメントレベルから見た相互関連についての研究を行い、近々にその成果を出版の予定である。</p>